

○新帰化植物アメリカスズメノヒエ (伊延敏行) Toshiyuki INOBE: A newly naturalized plant *Paspalum notatum*

1969年9月20日、徳島県那賀郡那賀川町手島の新設された路傍で篠原正義氏が新しい帰化植物のスズメノヒエ属の一種を採集された。その後篠原氏の招きにより同地を訪ね多数採集することができたので、大井次三郎先生のお言葉にしたがい、ワシントンのイネ科の専門家 T. R. Soderstrom 先生に鑑定を願ったところ、早速「典型的なアメリカ産の *Paspalum notatum* Flugge である」との報告をいただき種名を確定することができた。

この *Paspalum notatum* Flugge は多年草で周辺に 10~20 cm 大の地下茎を出し、その各節より強靱な根を下し、節の所々より茎を直生する。地下茎並に茎の基部は赤

紫色を呈する。茎は高さ 60~70 cm で無毛平滑。葉は線形で長さ 20~30 cm, 幅 3~4 mm, 葉舌は甚だ短く短毛を有する。花序は普通 2 (まれに 3 又は 5) 個を対生した枝からなり、枝は 10~16 cm, 片側に偏して 2 列の小穂をつけ、小穂は偏平の卵円形で先が少しとがる。長さ 3 mm, 幅 2 mm, 平滑で光沢がある。

この植物はその後の調査により徳島市の郊外や西条市の郊外にも分布していることが確められた。ここにアメリカスズメノヒエと和名を新設することにする。始終ご指導をいただいている大井次三郎先生、鑑定をいただいた T. R. Soderstrom 先生並に同先生をご紹介下さいました小山鉄夫先生に感謝の意を捧げます。

(四国女子短期大学)

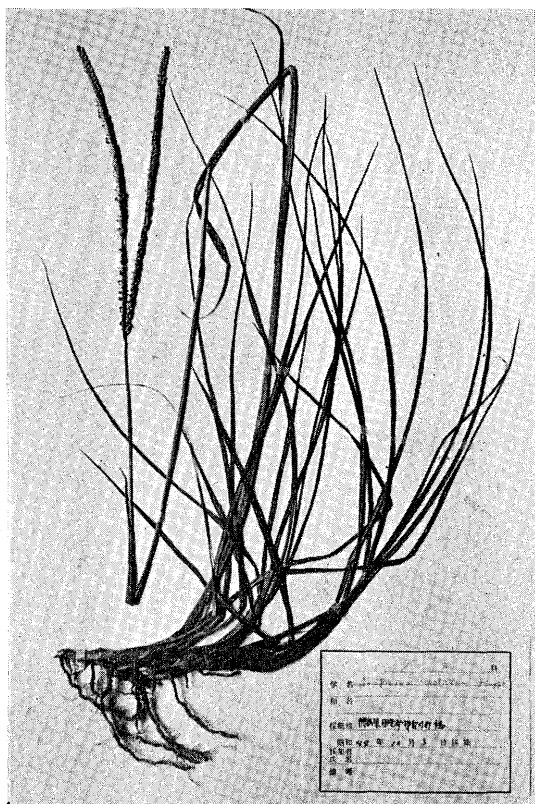


図 1. アメリカスズメノヒエ